



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年7月19日発行

合い言葉 **やればできる**

夏の暑さの中、キラリ光るもの

校長 土岐 邦寿

暑い季節がやってきました。一学期も終わり、夏休みに突入します。すぐにやってくるのが、県総体です。今年度も地区大会で好成績を収め、県大会に出場することができます。陸上では、砲丸投げに鶴園由羽さん（地区1位）、袖山結希華さん（同4位）の2名。ソフトテニス個人に中野好貴さん・宮田蓮さんペア（同2位）。バレーボール女子は上小原中との合同チーム（同3位）、野球は大始良中との合同チーム（同3位）でそれぞれ県大会出場となりました。今まで練習してきたことを出し切って、完全燃焼してほしいと思います。

スポーツといえば、パリオリンピックが7月26日から開催されます。パラリンピックが8月28日からです。各国のトップアスリートが集まり、頂点を目指して競いあります。テレビ等で紹介される場面がたくさん出てくると思いますので、ぜひ名勝負を目に焼き付けてほしいと思います。オリンピックで生まれた名言は数多くありますが、今回「オリンピックは参加することに意義がある。」を紹介したいと思います。言葉の一部分だけ切り取られて、「参加すればいいんでしょ」と勘違いされることもあります。本来の意味ではありません。前後の物語が大切なのです。この言葉は1908年に生まれました。当時アメリカとイギリスの選手同士でいざこざが多かったらしいのです。そのとき、アメリカのエチエルバート・タルボット司教が「オリンピックで重要なことは、勝利することより、むしろ参加したということであろう」と言ったのが始まりです。その話を聞いた当時オリンピック委員会のクーベルタン会長がとても感動し、「勝つことではなく、参加することに意義があるとは、名言である。人生において重要なことは、成功することではなく、努力することである。」と晩餐会で話をしたのが、今まで続いています。100年以上前のことです。オリンピックに出る選手は、努力に努力を重ね、オリンピックの出場権を得ることができます。その人一倍努力したことに対して、選手一人一人が尊敬され、たたえられることが大切だと思うのです。オリンピック期間中は争いごとはやめて、選手をたたえ合いましょうと呼びかけられています。難しいことなのかもしれませんが、お互いに相手を理解し、尊敬することは世界平和へもつながるものだと思います。

今の時代、部活動だけではなく、スポーツクラブや習い事など多岐にわたってチャレンジする子供たちが増えてきています。好きなことなら、少々苦しくても頑張れるはず。大いに努力して、自分しか持たない素敵な花を咲かしてほしいと願っています。いよいよ夏休みです。自分の時間を大切に、チャレンジしてください。保護者、地域の方々も温かい目で見守り、応援していただけたらうれしいです。

